

心を見つめて読もう（6年）

美月の夢

● 指導目標

場面の様子や人物の心情を思い浮かべながら読む。

- 地の文，会話，手紙の内容に注意しながら場面の様子や人物の心情の移り変わりを読む。
- 人物の心情や行動について自分の考えを持ち，根拠を明らかにして相手に伝えたり，文章に書いたりする。

● 教材について

本教材は，読み手と同じ6年生である美月が，沼田さんとののはがきのやりとりを思い返すなかで，自分の「将来の夢」を再確認していく物語である。ここでは，自分の夢を作文に書く活動を導入とし，美月の立場を追体験させることで，児童が物語の中に感情移入できるようにしたい。最高学年としてのスタートを切るにあたって，自分の未来について思いをめぐらしてみることが有意義である。さらに，主人公の美月のように明確な夢をもっていない児童の立場を大切にし，より人物に共感をもって読み進めるようにさせたい。

また，6年生最初の物語教材であることから，読む活動と話す・聞く活動，書く活動をバランスよく配置し，互いに関連させるようにし，本教材で身につけた力を今後の学習活動に生かしたい。例えば，人物の言動の理由などについて，ペアやグループで意見を交流させることをとおして，考えを明らかにしてノートにまとめられるようにする。

これらの活動をとおして読み取った，夢に対する美月の考え方の変化を，最終的には自分の文章にも生かすようにさせる。ここでは，改めて自分の夢を作文に書き，初めに書いたものと比較することをとおして，物語を読んで自分の考えが深まったことを実感させたい。

学習指導要領との関連

読むこと

- ウ 登場人物の心情や場面についての描写など，優れた叙述を味わいながら読むこと。
- エ 書かれている内容について事象と感想，意見の関係を押さえ，自分の考えを明確にしながらか読むこと。
- オ 必要な情報を得るために，効果的な読み方を工夫すること。

話すこと・聞くこと

- ウ 自分の立場や意図をはっきりさせながら，計画的に話し合うこと。

書くこと

- ア 目的や意図に応じて，自分の考えを効果的に書くこと。

本教材の指導にあたっては，まず，登場人物・時間・場所・事件・視点など，作品の構造をとらえさせることで物語文の基本的な読みの方法を身につけさせ，今後の学習に生かせるようにする。さらに，物語が美月の視点で書かれていることから，各場面にある美月の内言を抜き出してその変化をとらえさせ，美月の「夢」に対する考え方を変えたものについて考えさせる。

各場面では，美月の心情と，初発の感想で子供が出した疑問を関連させて話し合いのテーマを決定する。話し合いの際には，文中の表現や生活経験などを根拠としてあげるようにさせ，話し合ったことをもとに，自分なりの考えをまとめて書かせる。このような学習をとおして，読むこととの学習から話す力・聞く力や書く力へと，国語の力が総合的にはたらくよう指導したい。

● 学習指導計画（全 6 時間）

展開・時	学習活動	留意点
第 1 ～ 2 時	○ 自分の「夢」についてノートに書く。 ○ 本文を通読し，一次感想を書く。 ・ 題名読みをする。 ・ 範読 C D を聞く。 ・ 一次感想を書き，発表し合う。	○ 自分の夢を簡単な文章に書く。 ・ 職業やしてみたいこと等，限定せず自由に書かせる。 ○ 一次感想を書く。 ・ 場面ごとに疑問や感想を整理して書けるよう，ワークシートに書かせる。
	○ 作品の構造をとらえる。 ・ 登場人物，時間，場所 事件，書かれている視点 ○ 美月の内言の変化をとらえる。 ・ 美月の内言を抜き出す。 ・ 場面 1 と 5 での変化をとらえる。	○ 作品の構造を表にまとめる。 ・ 美月の視点から書かれていることを確認する。 ○ 美月の内言を「 - 」で書き出していることに着目させ，傍線を引かせる。 ・ 場面 1 と場面 5 での美月の内言を比較し，変化を話し合わせる。
第 3 ～ 5 時 第 5 時 （本時）	○ 1 の場面を読み，作文を書けない美月の心情について考える。 ・ 音読練習をする。 ・ なぜ美月は作文が書けなかったのかについて話し合う。 ・ 話し合ったことをもとに，自分の考えをまとめて書く。	○ 本時の学習部分を音読する。 ・ 美月の心情語を探しながら読むようにし，各自音読練習させる。 ○ 一次感想から出された疑問について話し合う。 ・ ペアで話し合った後，全体の場で話し合う。 ・ 文中の表現や，自分の生活経験を根拠としてあげて話すようにさせる。 ○ 話し合ったことをもとに，自分の考えをまとめて文章に書く。 ・ 話し合いの中で自分がよいと思った意見を生かして書くようにさせる。
	○ 2 ・ 3 ・ 4 の場面を読み，美月と沼田さんの心の交流について考える。 ・ 音読練習をする。 ・ なぜ「大きな木のような人」と書き続けたのかについて話し合う。 ・ 話し合ったことをもとに，自分の考えをまとめて書く。	
	○ 5 の場面を読み，美月の「夢」に対する考えの変化について考える。 ・ 音読練習をする。 ・ 美月の「夢」に対する考え方を変えたきっかけについて話し合う。 ・ 美月になって，将来の夢を作文に書く。	
第 6 時	○ 自分の夢について作文に書き，発表し合う。 ・ 自分の作文を書き，発表する。 ・ 第 1 時で書いたものと比較し，自己評価する。	○ 200 ～ 400 字程度の作文を書く。 ・ 前時に書いた美月の夢の作文を参考にし，自由に書かせる。

● 本時の指導展開（本時 5 / 6）

目 標

- ・ 5 の場面を読み，美月の「夢」に対する考えの変化を読み取り，美月の将来の夢を作文の形に書くことができる。

評価規準

ア 美月の「夢」に対する考えの変化を読み取り，美月になって将来の夢を作文に書くことができる。（読むこと）

イ 美月の「夢」に対する考えの変化とそのきっかけについて，根拠をあげて話し合うことができる。（話すこと・聞くこと）

● 展開例

学習活動	学習内容・留意点	評価・支援
1 本時の学習課題を確認する。	・ 一次感想で出た疑問をもとに課題を設定する。	○ 第2時で学習した，1の場面と5の場面での美月の内言の変化を想起させる。
美月の「夢」に対する考え方は，何をきっかけに，どのように変わっただろう。		
2 5の場面の音読練習をする。	○ 起立して各自音読練習する。 ・ 学習課題に関係のある表現を探しながら音読させる。	○ 早く読み終わった児童には，学習課題に関係のある表現を探しながら黙読させる。
3 美月の「夢」に対する考えの変化とそのきっかけについて話し合う。 ・ ペアで ・ 全体で	○ ペアで話し合う。 ・ お互いの考えでよいと思うことをメモし，全体での発表に生かすようにさせる。 ○ 全体で話し合う。 ・ 児童の発言に，根拠となる表現や体験を付け加えさせて発言するようにさせる。	話・聞：美月の「夢」に対する考えの変化とそのきっかけについて，根拠をあげて話し合うことができる。 ○ 文中の表現や自分の生活経験を根拠にして話すようにさせる。 ○ 沼田さんの心の中を美月はどう想像したか，考えさせる。
4 美月になって将来の夢を作文に書く。 ・ 作文を発表する。	○ 美月になったつもりで，宿題の作文を書く。 ○ 書いた作文を発表し，感想を話し合う。	書：美月の心情が表れるように，美月の将来の夢を作文の形に書いている。 ○ 1の場面での美月の内言を生かして書くようにさせる。 ○ 学習した美月の心情が表れているかに注意して聞くようにさせる。

● 資料 1 一次感想ワークシート

美月の夢 一次感想 (名前)
全体を通じて 感想 ? 疑問
1 の場面 感想 ? 疑問
2 の場面 感想 ? 疑問
3 の場面 感想 ? 疑問
4 の場面 感想 ? 疑問
5 の場面 感想 ? 疑問

● 資料 2 作品構造ワークシート

美月の夢 物語を整理しよう (名前)
登場人物は
いつのことか (年, 季節, 時刻 ^{こく} など)
場所は
どんなことが起こったか
だれの目から書かれているか
初めと終わりでいちばん変わったことは何か